農業振興部　公共事業評価シート

No	『安芸』中山間－１			
事業名	県営中山間地域総合整備事業	地区名	安芸	市町村名 安芸市
事業期間	平成２５～３０年度	事業主体	高知県	
総事業費	８８０，０００千円	負担割合	国:55%　県:30%　市:10%　地元:5%	

◇事業概要（目的及び内容の説明）

①事業実施対象者及び受益面積

工区名	工種名	受益面積（ha）	受益戸数（戸）	農業用水施設整備		ほ場整備	
				受益面積（ha）	受益戸数（戸）	受益面積（ha）	受益戸数（戸）
江川	用水路	36.5	79	36.5	79		
下山	用水路	12.7	25	12.7	25		
八丁	用水路・ほ場整備	2.7	10	1.8	10	2.7	10
赤野	揚水施設	23.0	131	23.0	131		
六丁	ため池・ほ場整備	8.2	41	8.2	41	1.7	20
川北	頭首工	119.4	236	119.4	236		
穴内	頭首工	14.5	67	14.5	67		
山田	ほ場整備	13.2	60			13.2	60
宮ノ上	ほ場整備	3.2	24			3.2	24
計		233.4	673	216.1	589	20.8	114

②目的

- ○老朽化の進んだ農業水利施設（用水路・揚水施設・ため池・頭首工）の改修・整備により、農業用水の安定供給を確保することで、日本一の冬春ナス（158ha・17,500t）を中心とした園芸農業の振興を図る。
- ○安芸市の平地北端部で、基盤整備から取り残されていた地域（山田・宮ノ上）におけるほ場整備を実施することで、多様な担い手の参入を促し地域農業の持続的発展を図る。
  なお、整備後は農業法人（異業種参入）によるショウガ作付拡大や施設ナスの作付拡大が見込まれている。
- ○安芸市西部の赤野・穴内地域において、高知東部自動車道・南国安芸道路が優良ハウス地帯を通ることが農業振興の課題となっているため、代替地対策も含めたほ場整備地として（六丁・八丁）のほ場整備を実施していく。
  なお、現時点で２戸のハウス移転が既に見込まれており、今後とも調整を進めていく。

③内容（整備手法）

工区・工種名	事業量	事　業　内　容
「江川」用水路	L=1,020m	φ600ﾎﾟﾘ管:325m OF600:426m φ600ｻｲﾌｫﾝ:77m 自由勾配:118m etc
「下山」用水路	L=770m	φ500ﾎﾟﾘ管:646m U型側溝:124m
「八丁」用水路	L=360m	取水施設:1箇所 管水路(φ65塩ビ･φ65鋼･φ150ﾎﾟﾘ):360m
「赤野」揚水施設	1式	φ80*37kw水中ﾎﾟﾝﾌﾟ:1台 φ50*3.7kw水中ﾎﾟﾝﾌﾟ:1台 取水井:1箇所
「六丁」ため池	1式	φ400底樋:57m φ250斜樋:25m 付帯水路500*250:190m
「川北」頭首工	1式	頭首工補修:1式 護床工:1式 付帯水路2100*700:160m
「穴内」頭首工	1式	頭首工新設（旧頭首工取壊）:1式
「山田」ほ場整備	A=13.2ha	整地:13.2ha 用水路:3322m 排水路:1638m 道路:2403m
「宮ノ上」ほ場整備	A=3.2ha	整地:3.2ha 用水路:776m 排水路:547m 道路:642m
「六丁」ほ場整備	A=1.7ha	整地:1.7ha 用水路:566m 調整池:1式 道路:710m
「八丁」ほ場整備	A=2.7ha	整地:2.7ha 用水路:1070m 排水路:230m 道路:475m

農業振興部　公共事業評価シート

No	『安芸』中山間－２

◇対象者とそのニーズの説明

①地域農業の現状と課題
- ・安芸市は、平坦地域及び海岸段丘地域においては日本一の冬春ナスを中心とした施設園芸農業が、山間地域においては日本一のユズを中心とした農業経営が展開されている。
- ・山間地域において補助対象となり得る基盤整備はH24完了の団体営中山間でほぼ充足。平坦地域及び海岸段丘地域における基盤整備もほぼ終えてきているものの、一部残る未整備地では、狭小な道路等のため耕作放棄地が発生する可能性が極めて高くなってきている。
- ・また、農業従事者の高齢化が進む中で、用水路や頭首工等が老朽化により機能を失いつつあり、農業生産を下支えする農業水利施設の適正な維持管理が困難となってきている。

②課題発生の要因と解決策
- ・老朽化の進んだ農業水利施設（用水路・揚水施設・ため池・頭首工）の維持管理が、高齢農家等では困難となりつつある状況を踏まえ、山腹水路を管渠化するなど、維持管理が容易な施設に改修していく。
- ・これまで地元合意が整わなかった地域においても、急速に進む農業従事者の高齢化等により、将来の耕作放棄地発生やそれに伴う地域衰退の不安が現実的な問題となり、ほ場整備実施に向けての合意形成が成されてきた。ほ場整備により高度利用可能な優良農地とすることで、多様な担い手の参入を促し地域農業の持続的発展を図る。
- ・平成23年度に事業化された高知東部自動車道・南国安芸道路は、安芸市悲願の高規格道路である一方で、赤野・穴内地域の優良ハウス地帯を縦断する計画であるため、ハウス建設が可能な代替地の確保を望む声が強い。本事業においても、こうした代替地対策も含めたほ場整備の実施が求められており、地元合意が得られる範囲で対応していく。

③課題解決しなかった場合の影響
- ・老朽化した農業水利施設の機能が失われれば、日本一の冬春ナスを中心とした施設園芸農業が衰退していく。
- ・今回計画したほ場整備が実施されなければ、当該地域の耕作放棄が発生・拡大していく。
- ・赤野・穴内地域のハウス代替地交渉が難航すれば、高知東部自動車道の完成遅延に繋がる。

◇整備手法の選択理由

①これまで実施してきた対策
- ・用水路についてはビニールシート被覆や簡易な亀裂補修などの漏水対策を水利組合等で実施。
- ・その他の水利施設についても、部分簡易補修等を改良区経費により実施。
- ・ほ場未整備地では、耕作道が狭小（1.5～1.8m程度）なため各農家が所有する小型農業機械で非効率な営農を実施。

②ニーズへの適合性
- ・今回の事業計画は、地元改良区等との話し合いの中で合意を得てきた内容であり、地元ニーズに適合している。

③他の整備手法との比較
- ・用水路整備について全面改修（単純更新）でなく山腹水路を暗渠化するなど、整備後の維持管理手間・維持管理費用を考慮した整備手法を採用していく。

農業振興部　公共事業評価シート

No	『安芸』中山間－３

◇事業の全体コストの把握

①総投資額に対する費用対効果

工区・工種名	総費用（Ｃ）	総便益（Ｂ）	総費用総便益比（Ｂ／Ｃ）
「江川」用水路	284,917　千円	524,501　千円	1.84
「下山」用水路	105,768　千円	249,713　千円	2.36
「八丁」用水路	17,155　千円	20,389　千円	1.18
「赤野」揚水施設	557,217　千円	865,428　千円	1.55
「六丁」ため池	131,315　千円	169,325　千円	1.28
「川北」頭首工	585,325　千円	1,943,492　千円	3.32
「穴内」頭首工	167,549　千円	354,203　千円	2.11
「山田」ほ場整備	314,511　千円	582,541　千円	1.85
「宮ノ上」ほ場整備	84,700　千円	219,875　千円	2.59
「六丁」ほ場整備	52,088　千円	67,700　千円	1.29
「八丁」ほ場整備	60,756　千円	118,273　千円	1.94
計	2,361,301　千円	5,115,440　千円	2.16

○ 総便益：作物生産、営農経費節減、維持管理費節減等の効果を算定

○ 総費用：当該事業費と完了後40年間における施設の補修・更新費等を算定

②関係機関の負担額及び受益者負担額の妥当性

	負担割合（%）				事業費	負担額（千円）				10a当り農家負担額	備考
	国	県	市	農家	（千円）	国	県	市	農家		
用水路	55	30	10	5	147,000	80,850	44,100	14,700	7,350	14	A=51.0ha
揚水施設	55	30	10	5	64,000	35,200	19,200	6,400	3,200	14	A=23.0ha
ため池	55	30	10	5	67,000	36,850	20,100	6,700	3,350	41	A=8.2ha
頭首工	55	30	10	5	144,000	79,200	43,200	14,400	7,200	5	A=133.9ha
ほ場整備	55	30	10	5	458,000	251,900	137,400	45,800	22,900	110	A=20.8ha
計					880,000	484,000	264,000	88,000	44,000	19	A=233.4ha

○　安芸市負担金については、市の財政部局との協議済み

○　受益者負担金については、改良区等と協議し了解を得ている

◇目標水準（地域構想あるいは営農計画等）の設定

・日本一の冬春ナスを中心とした施設園芸農業の振興による農家所得の向上
・ほ場整備地における、多様な担い手の参入による地域農業の持続的発展と地域活性化
・高知東部自動車道・南国安芸道路の早期完成による県東部地域の地域振興

◇その他（事業を推進するために必要な法令上の許認可手続き（地元の同意状況含む）や課題）

○　関係機関（河川・鉄道）との事前協議済　（⇒本協議は詳細設計後）

○　土地改良法手続き実施中　（⇒仮同意取得済み、H24年度内に法手続き完了予定）